

はじめて中華世界の長期支配に成功した
漢の統治機構を支えたのは
小さな**印章**と色とりどりの**綬**(組みひも)であった。

阿部幸信 著 中央大学文学部教授
東京大学 人文社会科学研究所アジア文化研究専攻。専門は、戦国、魏晋南北朝の官僚制度、衣服制度、政治思想、簡牘学、王権論、歴史理論、歴史教育等。
福岡教育大学助教授、日本女子大学准教授、清華大学人文学院偉倫特聘訪問教授、北京師範大学古籍与伝統文化研究院非常勤講師を歴任。
世界史探究 詳説世界史 著者。



印綬が創った 天下秩序

漢の統治と世界観

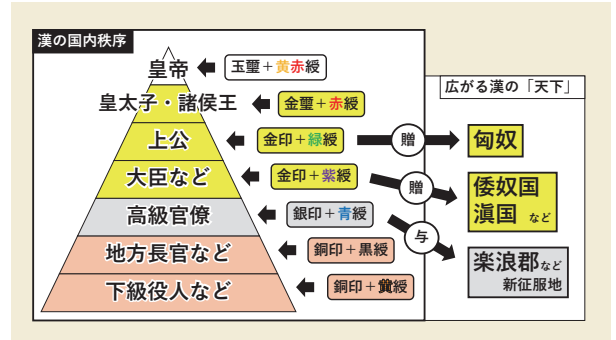
四六判 224頁(予定) ISBN:978-4-634-15238-0 C0022 予価 1,980円(本体 1,800円)

始皇帝による統一後、約15年で瓦解した秦の統治。その後の漢は約400年続く統治に成功し、周辺国をも従えて繁栄した。

さまざまな違いを内包した広大な領域をどのように統治し、コントロールしていけば安定するのか？ その問題に取り組んだ漢では、長期の統治を可能にする仕組みの完成に向けて試行錯誤が続けられ、そのなかで大きな役割を担ったのが「印綬」であった。

印章と綬(組みひも)を組み合わせることで特有の支配構造を私たち作った印綬制度。その変化を見ていくことで、次第に完成に近づいていく漢の統治機構の成立過程を解き明かす。

近年の世界史教科書記述の背景がわかり、世界史知識のアップデートにおすすめ。金印ファン、三国志ファンにもぜひ手に取ってほしい1冊。



- はじめに
- 序章 印綬とは何か
 - 第一章 印綬の機能
 - 第二章 印綬制度の構成
 - 第三章 印綬からみた前漢末～後漢時代の支配機構の構造
 - 第四章 諸侯王印の変化と諸侯王の地位の変遷
 - 第五章 印綬と漢王朝の世界観
- おわりに



4/4(木)
新刊受注メット

ご注文数

冊

番線印

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。

